

県道吉間田滝根線（広瀬工区）開通



ウォーキングイベント開催

同日、開通した県道吉間田滝根線のお披露目を兼ねて、参加申し込みのあった町民250人を対象に、ウォーキングイベントを開催しました。普段は歩いたり、見たりすることのできない高規格道路や高台からの眺めに歓声があがる一面がありました。



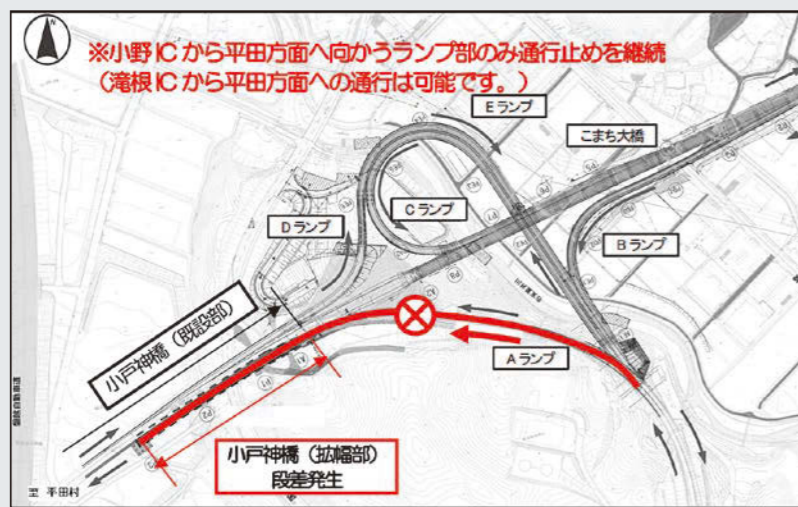
三世代がこまち大橋を渡り初め

平成24年度から整備が進められてきた県道吉間田滝根線（広瀬工区）が4月13日午後3時に開通し、これを記念して、今般整備された「こまち大橋」の三世代渡り初めを行いました。三世代渡り初めとは、橋や道路が開通したことを記念して行う行事です。昔は三世代が揃っていることがとてもめずらしいことであったため、これにやかり永続的に発展するように願いを込めて行ったもので、県道吉間田滝根線（広瀬工区）の整備にご協力いただいた行政区を代表し、先崎文雄さんご家族（大八）に渡り初めを行っていただきました。



県道吉間田滝根線の一部通行規制について

小野ICから平田ICへ向かうランプ部は、小野神橋上部の舗装面に段差が確認されているため、対策が完了するまで引き続き通行止めとなります。矢吹IC方面へ向かう場合は、平田ICまたは滝根ICをご利用ください。



小野町消防団辞令交付式 普通救命講習開催

令和6年度小野町消防団辞令交付式が4月7日、勤労青少年ホームで行われ、須藤団長から退団者22人、昇格者37人、異動者19人、入団者7人など各団員に辞令書が交付されました。

3月31日付けをもって退団された皆さんには、長年のご尽力に感謝を申し上げます。また新たに入団された消防団員の皆さんには、町の安全・安心のため、ご精励いただきますようお願い申し上げます。

辞令交付式終了後は、小野町消防団定例幹部会が行われ、令和6年度の活動計画などを確認し、年度内の無火災・無災害の達成に向け、意識を高めました。

また新入団員を対象とした普通救命講習が行われ、全員が真剣な表情で心肺蘇生法やAEDの使い方などを学びました。



入団宣言をする田村優次団員



新入団員の普通救命講習の様子

■小野町消防団幹部(敬称略)

本部・分団	役職	氏名(出身行政区)
本部	団長	須藤 昭雄(本町)
	副団長	横田 巧(湯沢)
		吉田 重成(飯豊上)
訓練分団	分団長	吉田 覚(上羽出庭)
		先崎 宏之(中通)
		今泉 幸也(夏井)
	副分団長	大和田 忍(浮金)
		草野 政氏(塩庭一区)
		大和田一博(中通)
庶務分団	分団長	國分 健広(小戸神)
	副分団長	吉田 正弘(中通)
第1分団	分団長	大樂 勝(大八)
	副分団長	吉田 裕之(反町)
第2分団	分団長	西山 英一(平館)
	副分団長	宗像 利幸(谷津作)
第3分団	分団長	西牧啓二郎(小野赤沼)
	副分団長	林 浩哉(菖蒲谷)
第4分団	分団長	吉田 智通(飯豊中)
	副分団長	宗像 耕一(小戸神)
第5分団	分団長	先崎 新吉(浮金)
	副分団長	宗像 健(吉野辺)
第6分団	分団長	吉田 茂(夏井)
	副分団長	木村 哲郎(夏井)
第7分団	分団長	二瓶 友輔(上羽出庭)
	副分団長	吉田 祐規(和名田)



消防団幹部団員

令和6年度小野町消防団春季検閲式開催

令和6年度小野町消防団春季検閲式が4月21日、小野運動公園多目的グラウンドで行われ、消防団員200人が参加しました。

検閲式の通常点検では、指揮者の号令のもと、団員一人ひとりが正確な動作で統監(町長)から点検を受けました。

また分団対抗の規律訓練が行われ、優勝の緑川杯には第5分団、準優勝の吉沢杯には第3分団が選ばれました。各分団とも、指揮者の号令に合わせて団員の小隊が行進を行い、日頃の訓練の成果を発揮しました。



消防団春季検閲式の様子

東日本電信電話株式会社と相互連携・協働によるDX推進を DX推進連携協定を締結



協定書に署名する高山支店長(左)と町長



協定書を手記念撮影する高山支店長(左)と町長

町と東日本電信電話株式会社とのDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に関する連携協定締結式が4月18日、役場第一会議室で行われました。
式には東日本電信電話株式会社から福島支店長などが出席しました。
この協定は、それぞれの密接な相互連携と協働によりDXを推進し、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応し、住民サービスの向上および地域の活力の創出ならびにデジタル化による働き方改革の推進を図ることを目的として締結したものです。
今回の協定締結により、東日本電信電話株式会社が有するスキルやノウハウを町のDX推進に積極的に取り入れ、デジタル化

による住民サービスの向上や行政運営の効率化、地域のデジタル化などを推進し、町の将来像「人が輝きみんなできつくしあわせおのまち」の実現に向けて取り組んでいきます。
今回の協定の連携事項は次のとおりです。
【連携事項】
(1)DX人材育成に関すること
(2)住民サービスの向上に関すること
(3)行政運営の効率化に関すること
(4)地域社会のデジタル化に関すること
(5)その他DX推進に関すること

■小野町消防委員(敬称略)

役職	氏名	行政区等
消防委員長	堺 英夫	塩庭二区
消防委員長職務代理者	橋本 浩一	反町
消防委員	郡司 賢一	吉野辺
	吉田 一夫	和名田
	村上 勝春	飯豊上
	榊原 泰男	反町
	須藤 昭雄	小野町消防団長
	横田 巧	小野町消防団副団長
	吉田 重成	小野町消防団副団長

小野町消防委員会
小野町消防委員を委嘱
小野町消防委員会が4月12日に開催され、委嘱状が交付されました。
消防委員会とは、学識経験者と小野町消防団長および副団長で構成され、町の消防行政の運営に関する重要事項を調査審議するための機関で、任期は2年間となります。
また委嘱状交付式終了後に行われた委員会において、委員の互選により、委員長に堺英夫委員、委員長職務代理者に橋本浩一委員がそれぞれ選出され、令和6年度の消防団活動などについて意見が交わされました。
▲委嘱状の交付を受ける堺英夫委員



ご寄付ありがとうございます 小野町ライオンズクラブからご寄付

小野町ライオンズクラブ(西牧裕司会長)から町にご寄付をいただきました。

これはチャリティーゴルフコンペ開催時の浄財を「町の教育行政発展に役立ててほしい」と、ご寄付をいただいたものです。

このたびのご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。



小野町ライオンズクラブの皆さん

春の全国交通安全運動に伴うテント村を実施

『挙げる手を やさしく見守る 横断歩道』をスローガンとし、令和6年春の全国交通安全運動に伴う街頭啓発活動(テント村)が4月8日、おのショッピングプラザコムコムで行われました。

テント村では、田村地区交通安全協会小野支部の会員や田村警察署小野分庁舎署員の皆さんが中心となり、交通事故防止啓発活動に取り組みました。

県内では交通事故発生件数、死傷者数が増加傾向にあります。交通事故を未然に防ぐため、街頭啓発活動を通じて広く呼びかけを行い、交通安全運動への取り組み強化に努めていきます。

ドライバーの皆さん、これからも子どもや高齢者を交通事故から守るため、正しい交通ルールで思いやりのある運転に努めましょう。



街頭啓発活動の様子

新たに地域おこし協力隊員が着任しました



バンビ隊員(左)とルカ隊員(右)

4月8日付けで新たにSHWE YI WIN(シュエ イー ウィン)隊員とVU THI THANH VAN(ブティ タン バン)隊員の2人が地域おこし協力隊員として着任されました。

着任された2人は「国際交流分野」を担当し、主に日本語教室の運営における助言や指導へのサポート、地域住民と在住外国人の交流(パイプ役)などの活動を行っていきます。

町では現在、5人の地域おこし協力隊員が活動しており、新たに2人を迎え、7人の体制でそれぞれの分野で町を盛り上げますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。

【隊員の紹介】

SHWE YI WIN(シュエ イー ウィン)

- ・出身国：ミャンマー
- ・ニックネーム：ルカ

VU THI THANH VAN(ブティ タン バン)

- ・出身国：ベトナム
- ・ニックネーム：バンビ

「純米吟醸 東堂山勝馬」令和6年新酒販売スタート & 試飲会を開催！ ～小野町産酒造好適米「福乃香」を使用したオリジナル日本酒～



取扱店詳細情報



【東堂山勝馬の町内取扱店】
大和田酒店、農産物直売所おのげんき、鯨岡酒店、ケー・ショップたかきや、ジスケファミリーショップ、富屋酒店、長久保酒店(湯沢温泉 元湯湯沢荘)、丸忠ストア

「純米吟醸 東堂山勝馬」令和6年新酒の試飲会が4月13日、多目的研修集会施設で行われました。「純米吟醸 東堂山勝馬」は町産酒造好適米「福乃香」を使用しており、東日本酒造協業組合、奥の松酒造株式会社との協力により醸造したオリジナル日本酒です。今回の試飲会は令和6年の新酒販売開始に合わせて開催しました。

主催者である小野町産業6次化・発酵のまちづくり推進協議会日本酒部会の遠藤英信部会長、町長、小野町議会中野副議長、東日本酒造協業組合理事・杜氏の殿川慶一さんによる鏡開きを行い、日本酒部会員で「福乃香」の生産者でもある佐藤秀洋さん(夏井)の乾杯の発声で試飲会がスタートしました。

試飲会では、令和6年新酒と合わせて、発酵おつまみを提供し、参加者はお酒と料理のペアリングを楽しんでいました。

今回の発酵おつまみは、町内で伝統料理の継承や発酵食品を取り入れた料理による地域交流などに取り組みされている石井友子さん(浮金)にご協力をいただきました。

町では引き続き「産業6次化・発酵のまちづくり推進事業」に取り組み、協議、試作を重ね、商品化を図っていきます。



2



1



4

- 1_鏡開きの様子
- 2_挨拶する遠藤部会長
- 3_参加者全員で乾杯
- 4_発酵おつまみ(お品書き)



3

小野町で地域おこし協力隊として活動している隊員を紹介します

高齢者生活支援分野で活動しています山口愛です。役場健康福祉課に勤務しており、主な活動は各地区のサロンや町の事業などで健康についてのお話や健康体操を行っています。今年度は、今まで以上にサロンにも出向く機会が増えると思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。



山口 愛 隊員
令和3年6月着任



阿井 由加子 隊員
令和元年12月着任

移住・定住分野で活動しています阿井由加子です。出身は静岡県藤枝市です。主な活動は移住相談や定住のサポート、空き家・空き地バンクのHP作成と運営の他、売買・賃貸物件のご案内をしています。今年度も町の魅力を発信しつつ、少しでも皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。

農業・6次化、発酵のまちづくり分野で活動しています栃木県出身の石川隼人です。現在は町民の皆さんに教わりながら発酵食品の試作を行っています。これからは原材料となる大豆づくりにチャレンジし、6次化商品開発を目指していきます。また町の魅力をお伝えできるようにSNSを利用したPRにも力を入れて活動していきますので、よろしくお願いいたします。



石川 隼人 隊員
令和5年12月着任



山田 淳輝 隊員
令和3年7月着任

情報発信分野で活動しています山田淳輝です。もうすぐ3年が経ち、任期は来年の3月までとなります。現在までの活動としては、福島放送のCM大賞動画制作、東堂山勝馬ポスターデザイン、小野町広報紙の表紙写真の撮影などを行ってきました。今年度も引き続き、動画制作やチラシ、ポスターデザイン、SNSでの町の情報発信を行っていきますのでよろしくお願いいたします。

こんにちは。小野町の地域おこし協力隊に新しく加わりましたシュエイウィン(ルカ)です。出身国はミャンマーです。私は令和6年4月から地域おこし協力隊として活動を始めました。好きな日本の食べ物は納豆と味噌汁です。町民の皆さんと一緒に問題を解決し、新しいことを見つけることが楽しみです。これからよろしくお願いいたします。



シュエイウィン 隊員
(ニックネーム：ルカ)
令和6年4月着任



成井 秋暁 隊員
令和6年1月着任

令和6年1月に地域おこし協力隊として着任しました成井秋暁です。私は「移住・定住・交流」分野で活動しています。3カ月が経ち、企画の難しさに直面していますが、これからは県内外から小野町に行ってみたく思っていたような交流イベントを町民の皆さんとも協力し合って実施に向けがんばりたいと思います。



ブティ タンバン 隊員
(ニックネーム：バンビ)
令和6年4月着任

こんにちは。私はベトナムのハノイ出身のブティタンバン(バンビ)です。令和6年4月から地域おこし協力隊の国際交流分野で活動しています。私の業務は地域住民と在住外国人の交流事業を主に担当し、また外国人が図書館や体育館などを利用するためのPR活動にも携わっています。これからよろしくお願いいたします。

鳥獣被害対策実施隊 隊員を委嘱

令和6年度の小野町鳥獣被害対策実施隊隊員を委嘱しました。

鳥獣被害対策実施隊隊員は、町内のイノシシなどによる農作物の被害を防止するために町長が委嘱するものです。

昨年度のイノシシ捕獲頭数は232頭で、町内の農作物被害の防止にご尽力いただきました。今年度も引き続き町内のイノシシ捕獲をはじめとする鳥獣被害対策にご協力いただくようになります。

なお委嘱された隊員および役員の皆さんは右表のとおりです。



委嘱状の交付を受ける中野正喜隊長

鳥獣被害対策実施隊隊員(敬称略)

分会	氏名	分会	氏名
小野新町分会	松本 正壽	夏井分会	吉田 孝
	伊藤 勝		西牧 芳徳
	伊藤 実		木村 伸和
飯豊分会	大和田不二男		阿久津清次
	佐藤 正作		木村 弘美
	村上 久	國分 信秋	
	村上 一	佐藤 仁	
羽生 洋市	菖蒲谷分会	中野 正喜	
		鈴木 昭一	
		先崎 博之	
		宗像 浩	
		矢吹 茂	
		西牧 金吉	

役員(敬称略)

隊長 中野 正喜
副隊長 大和田不二男
事務局 松本 正壽
会計 吉田 孝

有害鳥獣を目撃、被害にあった場合は？

実施隊は、農作物に被害をおよぼすイノシシやカラス、カモなどの有害鳥獣を銃器やわなを利用して捕獲しています。

イノシシなどを目撃したときや被害にあったときは、行政区長に連絡するようお願いします。

なお被害にあった場合は、被害にあった作物名や面積、被害場所などを必ず伝えてください。

毎年増え続けている鳥獣被害を防ぐため、実施隊が町内全域の捕獲活動を行いますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

有害鳥獣被害対策の流れ

- ・(イノシシなどを)目撃したとき
- ・農作物・農地などに被害にあったとき
- ・行政区長へ連絡
- ・行政区長が産業振興課へ依頼書を提出
- ・産業振興課が実施隊へ捕獲を依頼
- ・実施隊が鳥獣を捕獲

狩猟免許・猟銃免許にかかる費用を助成します

町では鳥獣被害対策実施隊によりイノシシなどを捕獲していますが、農作物への被害や農地の掘り起こしなど依然として被害が多く発生しています。

しかしながら、イノシシなどの鳥獣を捕獲する実施隊は高齢化により年々減少傾向にあります。

そこで新たな実施隊の隊員を確保するため、町では実施隊加入に必要な免許や許可にかかる費用を助成し、加入促進を図っています。

この機会に狩猟・猟銃免許を取得してみませんか。

1 補助対象条件

免許取得後、小野町鳥獣被害対策実施隊に加入すること。

※原則狩猟免許および猟銃免許の両方を取得していただきます。

2 補助の対象となる免許

- 次の免許の取得にかかる受講料など
- (1) 福島県が実施している狩猟免許(わな猟および第一種猟銃)
 - (2) 福島県公安委員会が実施している猟銃免許

3 申請の流れ

申請を希望する方は、事前にお問い合わせください。

産業振興課 ☎72-6938

